

# WAZUKA

和の郷 さと 知の郷 さと 茶源郷 和東



和東町

## 第5次総合計画 後期基本計画

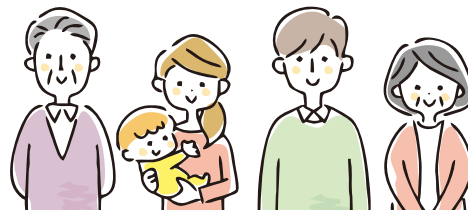
概要版

第3期

まち・ひと・しごと  
創生総合戦略

令和8年3月

# 1. 計画の概要



## (1) 計画策定の趣旨

本町は令和3（2021）年より、将来像である「和の郷 知の郷 茶源郷 和束」の実現に向けて、町の特色を最大限活かし、小さいまちだからこそできる取組に焦点をあて、新たなステージにおける茶源郷の道標を明確にするための計画、「第5次総合計画（前期基本計画）」及び「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進しています。

この間、新型コロナウイルス感染症の拡大が、働き方の変化やデジタル活用の進展、人間関係と価値観の変化など、住民の生活に大きな影響を及ぼしました。また、所得の伸び悩みや不安定な政治状況等により、将来への不安が強まる一方となっています。

このような目まぐるしく変わる社会情勢に対応するため、また、歯止めがかからない人口減少の抑制または人口規模に適応しつつ、この和束町で持続的に豊かな暮らしができるよう、新たに令和8（2026）年度を初年度とする「和束町第5次総合計画後期基本計画・第3期まち・ひと・しごと総合戦略」を策定します。

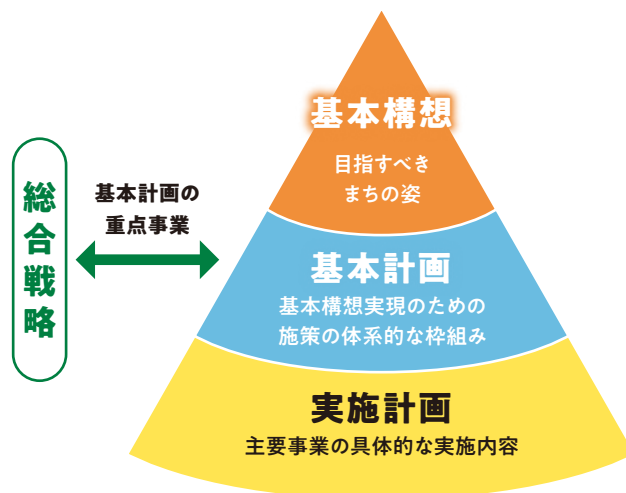
## (2) 計画の構成と計画期間

### ① 総合計画の構成

総合計画とは、町の最上位計画に位置づけられるもので、「基本構想」「基本計画」及び「実施計画」によって構成されます。

また「総合戦略」は、基本計画の重点事業として位置づけ、一体的に推進するものとします。

※本計画は「基本構想」及び「基本計画」のみ



### ② 計画期間

本計画の計画期間は令和8年度から12年度までの5か年とします。

令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
和束町 第5次 総合計画 前期基本計画					和束町 第5次 総合計画 後期基本計画				
第2期 まち・ひと・しごと総合戦略 一体的に推進					第3期 まち・ひと・しごと総合戦略 一体的に推進				

## 2. まちづくりの理念と将来像

### (1) まちづくりの理念

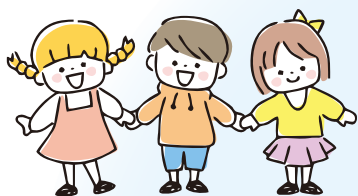
『理念』とは、今後のまちづくりに関して基本的な考え方となるもので、全ての施策の立案に共通するものであり、また、住民の様々な活動を展開するうえでも共有していく考え方（コンセプト）となるものです。

町の規模は小さいですが、“お茶を核とした伝統ある歴史”の蓄積があり、茶畑をはじめとする生業景観に包まれ、のどかでゆとりのある暮らしが展開されています。また、この環境を求めて町外からの移住者や、外国人の来訪も年を追うごとに増えてきています。

これまで茶源郷として培ってきた伝統や文化を大切にするとともに、新しい時代に対応した、“自然豊かな素敵な暮らし”を創りあげていくために、まちづくりの理念は次のものとします。

### なごみ・つながぎ・ささえあい

### によるまちづくり



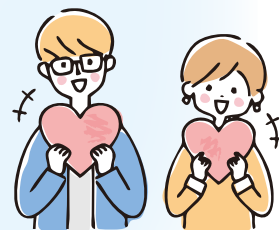
なごみ

つながぎ

ささえあい

#### 【なごみ】

里山の自然環境やお茶の伝統・文化を大切に継承していくとともに、生活の豊かさや利便性を高める新しい技術や、様々な人々との交流を積極的に受け入れ、お茶の香りのように和東流にブレンドされたなごみのあるまちづくりを目指すものです。



#### 【つながぎ】

お互いの顔が見えるコミュニティを大切にし、人とひととのつながり、地域間の繋がりを強めるとともに、住民・行政・事業者が相互に持ち味や特性を活かした役割分担が機能しているまちづくりを目指すものです。

#### 【ささえあい】

保健・医療・福祉が一体となって、幼児から高齢者まで誰もが安心して暮らせる仕組みづくりとともに、次世代を担う子どもたちを地域ぐるみで育て・支えるまちづくりを目指すものです。

## (2) 将来像

『将来像』とは、目指すまちの姿を端的に表すものです。

第5次総合計画後期基本計画における将来像は次のものとします。

トンネルを抜けると日本の故郷ともいうべき、のどかでなごやかな空間（和の郷）が広がっています。その中で子どもたちはのびのびと学び・育ち、高齢者は知識や知恵を使って、まちづくりに積極的に参加し、さらに町外からも様々な学び・遊びの場として人々が訪れるまち（知の郷）が展開されている姿を表しています。



## 3. 将来人口と交流人口

本町においては、町内に住む方々（定住人口）とともに、本町と強い繋がりを有し、定住はしていないが、町との行き来がある方々（関係人口）を含めて『人口』と捉えるとともに、観光客や体験学習等で訪れる方々を『交流人口』として設定しています

それぞれの目標は次のとおりと設定します。

将来人口（令和12年 目標値）

**3,800人**

（定住人口：3,500人 + 関係人口：300人）

交流人口（令和12年目標値）

**300,000人**

### 令和7年の変化

#### 「鷲峰山トンネル」開通

京都市や宇治市、宇治田原町といった周辺都市との近接性が大幅に改善されました。

また、大雨等の異常気象時にも常時通行が可能で、防災性が向上し、町民の安心・安全に寄与しています。



#### 「和東町健康福祉交流センター（cha nova）」完成

住民の保健・医療・福祉の拠点となる施設が整備されました。

これにより、世代や地域を超えた交流・文化創出の場として機能することが期待されています。



これら2つの変化をインパクトとして捉え、将来像の実現に向けた施策の展開を図っていきます。

## 4. 施策体系

後期基本計画の施策体系は、次のとおりです。

### I 子どもから高齢者までの全ての住民が健やかに暮らせる郷

#### 基本施策1 人権尊重社会の形成

##### 目指す将来像

みんなが幸福で平和な社会を築き、住民一人ひとりが人権意識を高め、個人の尊厳と人権が確立される社会が実現したまち

#### 基本施策2 地域福祉の推進

##### 目指す将来像

“和（おだやかに安心して暮らせるまち）を、束ねる（地域ぐるみの取組）”まちづくりが実現したまち

#### 基本施策3 保健・医療体制の充実

##### 目指す将来像

だれもが利用しやすい、保健・医療・福祉の拠点が実現したまち

#### 基本施策4 子育て支援の充実

##### 目指す将来像

“子育てするなら和束町”といわれるような地域社会全体で子育てをあたたく見守るまち

#### 基本施策5 高齢者支援の充実

##### 目指す将来像

いつまでも、安心と生きがいに満ちた生活が送れる、支え合いの茶源郷

#### 基本施策6 障がい者支援の充実

##### 目指す将来像

障がいがあっても地域全体で支え合い、ともに豊かで安心して過ごせるまち

### II 生きる力を育む教育と生涯にわたった学びの郷

#### 基本施策1 学校教育の充実

##### 目指す将来像

質の高い学力とともに、健康や体力、生命、人権を尊重する心等豊かな人間性を育み、「我がふるさとを愛する心」を育めるまち

#### 基本施策2 生涯学習の充実

##### 目指す将来像

生涯にわたり、多様な学習活動を主体的に行える環境整備と人材育成ができるまちとともに、社会教育関係団体等との連携や協働参画、生涯を通じて年齢や体力等環境に応じたスポーツの機会があるまち

#### 基本施策3 国内外の交流と国際化への対応

##### 目指す将来像

和束町の茶業や茶文化を世界に発信して「和束茶」の知名度が向上し、交流が活発なまち

#### 基本施策4 歴史文化の保全と継承

##### 目指す将来像

歴史文化遺産を通じて、和束町への誇りと郷土愛を育み、伝統と歴史を学び、次世代に伝えるまち

### Ⅲ 自然と共生し、安心・安全な郷

#### 基本施策 1 防災・防犯体制の充実

##### 目指す将来像

災害等に対し十分な備え、複雑化する社会にも対応した全ての住民が安全・安心して暮らせるまち

#### 基本施策 2 河川環境の整備

##### 目指す将来像

適切な維持管理による安心・安全な河川づくりや自然豊かな河川環境に囲まれたまち

#### 基本施策 3 上・下水道の整備

##### 目指す将来像

将来にわたり持続可能な経営により、災害時に強い強靱な施設のもとで、安心・安全で安定した水道水の供給と汚水処理が行われるまち

#### 基本施策 4 森林保全と治山・治水

##### 目指す将来像

町の重要な景観資産であり貴重な自然資産の森林の環境保全に取り組んでいるまち

#### 基本施策 5 環境と共生した生活スタイルの確立

##### 目指す将来像

住民・事業者・行政が一体となり、まちぐるみで環境問題に取り組むまち

### Ⅳ お茶観光を軸とした交流の郷

#### 基本施策 1 農林業の振興

##### 目指す将来像

“茶源郷 和束”を象徴する茶業の生産・加工・販売の体制を強化し、和束茶のブランドを確立、担い手不足の解消と地域産業としての活性化されているまち

#### 基本施策 2 活力を生み出す商工業の振興

##### 目指す将来像

高齢者に配慮した住民にやさしい地域商業の展開と、鷲峰山トンネル開通のインパクトを活かした新たなビジネスが生まれるまち

#### 基本施策 3 波及効果をもつ観光・交流産業の展開

##### 目指す将来像

茶畑景観が織りなす日本のふるさととして、国内外の人が集い、「お茶と観光」の融合が実現したまち

#### 基本施策 4 新たな産業の創出

##### 目指す将来像

地域特性を十分に活かした、事業者及び行政が立場と経験、技術、発想力を駆使し、新たな産業おこしに取り組んでいるまち

## V 快適で美しい環境の郷

### 基本施策1 移住・定住環境の整備

#### 目指す将来像

茶畑の美しい景観に加えて、自然が豊かで、都会に近いところで田舎暮らしができる地理的環境を活かし、住みたい、住み続けたい、帰ってきたい、幸せを感じられるまち

### 基本施策2 道路網の整備

#### 目指す将来像

通勤・通学や生活の利便性を高める道路ネットワークの実現とともに、利用する人が安心して通行できる快適な道づくりができるまち

### 基本施策3 公共交通システムの充実

#### 目指す将来像

通勤・通学、通院、買い物等日常生活で欠かせない地域交通システムが充実したまち

### 基本施策4 公園・緑地の整備

#### 目指す将来像

子どもから高齢者まで住民誰もが利用できる公園を協働で維持管理し、居心地がよい使いやすい公園や緑が豊かなまち

## VI 住民と行政のパートナーシップによる郷

### 基本施策1 住民参画のまちづくり

#### 目指す将来像

全ての住民がまちづくりに参加し、幸せに住み続けられるまち

### 基本施策2 情報システムの強化と公開の推進

#### 目指す将来像

町ホームページや茶源郷行政情報配信システムの機能向上を図るとともに、住民が使いやすい情報手段の普及に努め、これらを活用した効果的・効率的な公共サービスが提供されるまち

### 基本施策3 効率的・効果的な行財政運営

#### 目指す将来像

PDCA や STPD による計画を推進すると同時に、進捗管理については住民とともに行財政運営を判断していく仕組みづくりを進めて、業務効率化や行政サービスの充実を図ることができるまち

### 基本施策4 広域行政の推進

#### 目指す将来像

個性と魅力を創りあげるとともに、相楽東部として力を合わせてスケールメリットを最大限に活かせる広域行政を進め、その他の近隣市町村との連携もできるまち



# 5. 第3期 和東町まち・ひと・しごと創生総合戦略

第3期和東町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、次の体系で展開を図ります。

## 基本目標 1

数値目標  
2030年  
(R12)

### 選ばれる茶源郷

- 基本的方向1 和東町で始める「新しい暮らし」の支援
- 基本的方向2 和東の未来を育む子育てサポートプログラム
- 基本的方向3 郷土の学びで未来へつなぐ和東の教育
- 基本的方向4 地域を繋ぐ交通ネットワーク戦略

指標	目標値
・空き家への転入世帯数(延べ世帯数)	・24件 → 30件
・教育に満足している住民の割合(保護者アンケート)	・小学校 97% → 97%以上 ・中学校 80% → 85%以上
・子育てしやすいと感じる住民の割合	・就学前 74.5% → 80%以上 ・小学生 77.3% → 80%以上

## 基本目標 2

数値目標  
2030年  
(R12)

### 価値を生み出す茶源郷

- 基本的方向1 茶産業のブランド化と人材戦略
- 基本的方向2 茶源郷の新たな魅力の創造

指標	目標値
・荒茶生産量	・1,224,178kg → 1,225,000kg
・ふるさと納税(企業版ふるさと納税含む)納付額	・6,789千円 → 40,000千円
・観光入込客数	・188,332人 → 300,000人

## 基本目標 3

数値目標  
2030年  
(R12)

### 持続可能な茶源郷

- 基本的方向1 健やかな社会を築く支援の充実
- 基本的方向2 安心できる暮らしを支える和東づくり
- 基本的方向3 広域共創プロジェクト

指標	目標値
・ずっと住みたい住民の割合	・46.2% → 50.0%以上

## 和東町

### 第5次総合計画(後期基本計画) 第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略

発行/和東町まちづくり応援課 令和8年3月  
〒619-1295 京都府相楽郡和東町大字釜塚小字生水14番地の2  
電話(0774)78-3002(代) FAX(0774)78-2799  
URL <https://www.town.wazuka.lg.jp/index.html>

